

## 令和6年度第1回太宰府市立図書館協議会 会議録

日時 令和6年11月12日(火) 18:00~19:18

場所 プラム・カルコア太宰府 会議室

出席者 【委員】時里会長、永利副会長、藤野委員、中村委員、江口委員、原委員

【事務局】文化学習課：堀ノ内文化学習課長、茂田係長、廣見

市民図書館：行武館長、黒木司書

傍聴人 なし

### 事務局紹介

#### ○事務局

本日の令和6年度第1回太宰府市立図書館協議会につきましては、委員の過半数に出席いただいておりますので、太宰府市立図書館協議会規則第4条第2項の規定により、協議会は成立しております。

(協議会開会)

### 会長あいさつ

### 協議事項

#### (1) 令和5年度の報告(館報)について

##### ○事務局

「だざいふのとしょかん 令和5年度の報告」をご覧ください。

このたびページ数を増やして、本市の概要、配架している雑誌や新聞のリスト、他市との利用状況がわかる「広域利用統計」や「相互貸借」の件数も掲載し、内容を充実させました。

まず2、3ページをご覧ください。令和5年度は286日開館、すくすく号は183日巡回することができました。利用者数、貸出数ともに伸び悩んでおりまして、なかなかコロナウイルス感染拡大の前の状況には回復できておりません。令和5年度は、コロナ禍が終息し、外出の機会が増えたことが影響しているのではないかと分析しております。実際に旅行ガイドブックや街歩きの本の貸出しが増えておりました。

次に、9、10ページをご覧ください。こちらのほうは、移動図書館「すくすく号」についてです。こちらも前年度より貸出数が8千冊近くも減っております。特に7校の小学校ともに令和2、3年度から減少傾向にあります。夏の猛暑などで、「すくすく号」がお昼休みに行くようにしているんですけど、あまりの暑さに校庭に出ることができなかつたり、タブレット端末の貸与がその要因のひとつかと考えております。そこで、今年6月の校長会や自治協議会役員会で「すくすく号」の利用の呼びかけをさせていただきました。さらに市内の主要なデイサービス事業所にも図書館利用のご案内の文書を持参してPRに努めております。

12ページの団体貸出につきましては、7つの小学校全クラスに対して、担任の先生と学校図書司書の先生にご協力をいただいて、小学校全クラスに対して学期ごとに全体で1

万冊以上の児童書を配本しております。これにつきましては、たぶんクラスごとに、今2学期制ですので1学期、そして一度10月頃に引き取って低学年中学年高学年に分けて本をシャッフルして、また10月、秋休みが終わる頃に新しくなった本を各小学校の方にお届けして子どもたちに利用してもらっています。

次に14ページの決算につきましては、「Bその他の物件費」の中に、新しくリニューアルしました「5代目すくすく号」の購入費用も含まれております。

16ページをご覧ください。文サ連（太宰府市子ども文庫・読書サークル連絡協議会）をはじめ、多くの皆様のお力添えをいただきながら事業を開催することができました。福岡こども短期大学との共催「七夕まつり」や、九州大学芸術工学部フィルハーモニー管弦楽団有志による「こどものための夏の終わりの演奏会」も開催でき、多くの子ども達と保護者に楽しんでいただけました。

19～22ページをご覧ください。こちらも新しく、一年間に館内で開催した、特集一覧を掲載しました。毎月「時事特集」「その他の特集」「こどもコーナー」の特集、各コーナーで特集を組んで、多くの方にご利用いただきました。「森鷗外」や「認知症」など市の部署との連携事業としてコーナーを設けました。森鷗外は文化財課、認知症は高齢者支援課のほうと連携しまして、コーナーのほうにPRをしてたくさんご利用していただけました。今後も市の事業のPRの場としても図書館を利用していただけるように、各部署に呼びかけてまいりたいと考えております。以上で説明を終わります。

○時里会長

ご説明ありがとうございました。では、委員の皆さんから質疑、ご意見などございましたらお願いいたします。

○中村委員

2点あります。一つ目がすくすく号の利用で、小学校の貸し出し人数が少なくなっているということですが、夏の猛暑でというお話もあったんですが、月ごとの利用者数は出していらっしゃるでしょうか。

○事務局

出しています。

○中村委員

その中で、夏が少ないということですね。

○事務局

特にですね。たしか警戒アラートが出たら、屋外で遊んではいけないよというのがあると聞いていまして、大体昼休みを目指して、1時前後に行くようにしているんですが、本当に猫も歩いていないですね。誰もいないという感じで。

○中村委員

猛暑だからというのがあるので、仕方ないことかなと思います。あともう一点は高齢者施設の利用のお話を聞いて、どんなふうに利用されますかという話をされているのか、内容を聞かせてもらいたいなという、なかなかこちらに来るとするのは難しいところもあると思うので。

○事務局

市内の主なデイサービスのリストが高齢者支援課にありまして、お手紙を出してもな

なかなか気持ちが伝わらないので、私が参りまして。団体貸し出しというものがあります。双葉老人ホームは今行っているんですけど、個人の方が自分のカードで借りている。やはり全部を回るわけにはいきませんので、近くのステーションにすくすく号が参りますので、そうしたら団体で登録していただいて、施設の代表者のお名前で作っていただいて、施設の方が借りにきてもらっています。何件か今もう「じゃあ」と言ってですね。高齢者向けの紙芝居もありますし、高齢者の方に喜んでもらえるような本を積んでですね、写真集とかお料理の本とか盆栽の本とか。昭和のレトロな絵本もありますので持っていったら、20冊くらい借りられて、2週間ごとにまた借りて。これがだんだんと広がっていけばいいなと思っています。

○中村委員

うちも高齢の父がいて、本が好きだけどなかなか図書館へは借りに行けなくて。高齢者向けのそういったサービスが今後充実していったらいいかなと思います。

○事務局

大活字本とかも載せていて、リクエストがあればその本を探して持っていきます。

○中村委員

読むのは難しくなってきたと言っていて、写真を見たりとか。あと、読んでもらうとかですね、そういったサービスもあれば。

○事務局

それこそ、高齢者向けの読み聞かせもやってくださいと言ってお願いしています。

○時里会長

ほかにございませんか。

○中村委員

もう一点よろしいですか。先ほど図書館の主催の行事、恒例の事業が載っていたと思うんですけど、例えば16ページのハロウィンおはなし会、今年も先月おこなったんですけど、去年は参加人数95名で、今年は市民ホールで、選挙の講演行事と重なってしまい、私たちがハロウィンおはなし会をする時間帯に駐車場がゼロになってしまって、結局参加人数が親子で30数名で、本当にその人数だったのか、結局、駐車場が満車で来られなかった人がいるのかその点がわからない。私たちの開催が3時で議員の方の演説会が2時半、館長がそこで3時に立っていただいたんですよ。そういったこともあって参加人数がちょっと今回はというのはあったんですけど。それは仕方のないことではあるんですけど、今後そういったことへの対策というか改善策があれば何か。駐車場が少ないのは仕方ないけど、始まった時間帯が遅いのもあるし。

○事務局

選挙の方が後なんですよね、決まったのが。投票日の前の日、立候補の方にとってはちょうどいいタイミングの時間帯だったので、うちが30分遅かったばかりに。もう土曜日なので市の職員もお休みですから市役所の駐車場も空いてるからと思ったけど、ほんとに全部満車になってしまって。だからずっと立っていて、文サ連の方も何人か来てくださって。「奥に停めてきてください。来るまで待っています」と言って、10分遅れで始めました。演説会をされたスタッフの方もユニフォームを着て駐車場の案内をされてあったんですよ。で、「図書館専用の駐車場には停めないでください」と言っ

てあったんですけど、そこは本当にハロウィンおはなし会ですか、本当に図書館に来ているのですかと問い詰めるわけにもいきませんから。ひよっとしたら、せっかく子ども連れてきたのに停めるところがないと帰ってしまった方もいたかも。

○中村委員

何人かは、私も聞いたんですよね。子どもさんが仮装までして車で来て、ぐるっと回ったけど停めるところがないから、どこかでご飯食べて帰ろうという方がいて。

○事務局

それは申し訳なかったです。残念でした。

○時里会長

数字だけ見ると、急激に下がっているなという感じになってしまいますからね。確か総選挙が1か月前にこの日にやるという話になりましたからね。私もいろいろなところで聞いています。選挙が入ったために会場を渡してできなかったとか、中止せざるを得なかったとか延期したとかですね。そういう話は様々聞くところですね。何か注意を書いてね、実はこういう事情があってとか書いておくとか、思わなくはないですね。突発事故が起こったんだと記入をしていただくといいかもしれない。そういった時の代替の駐車場がすぐに準備できればいいでしょうけど難しいところですよ。これは何で貸出数が減っているんでしょうね。まあ、なんとなくわかる気がするようないような。あの、今年の5月でしたかね、コロナが5類になって解除されて自由になってきたと。まさに令和5年度はその渦中であって外に行く機会が増えたのか、本を求めなくなったのか、そんな感じはしなくはないですね。先ほどご説明あったような認識でいらっしゃるということによろしいですかね。ガイドブックなどの貸し出しが多かったと。

○事務局

ガイドブックとかの貸し出しは本当に多かったです。同じ方が何回も繰り返し借りたりして。先ほど会長が仰ったように、私もたまに電車に乗りますが、向かい合わせに乗っている人、10人座っていたら、9人、10人ほぼ皆さんスマホを見ている。

○時里会長

しばらく前からそんな風景ですね。でも令和4年度は貸出数が43万冊ですか？これはどういう理由なんでしょうね。こちらのほうがむしろ、コロナ前に近いですね。令和2年からコロナ禍に入って、こういうような数字ですけど、令和4年度は貸出数が43万冊とコロナ前に近い数字が出ていますよね。で、令和5年が39万5千冊ですか。カクッと下がっていますよね。

○事務局

コロナの最中はですね、かえって皆さん出歩けなくて、図書館自体も閉めたり、すすく号も運休したりしましたが、本を借りたいという方が、自宅で本を読みたいということで、それで多かったように聞いています。

○時里会長

令和4年度は1割まではいかないけど、貸出数が増えていますよね。人数もそうですかね。

○事務局

令和2年、3年もコロナで一時休館しましたが、そんなに減ってないですよ。

○時里会長

令和5年度は反動なんですか。

○事務局

そう思っています。

○時里会長

もう少し長い目で見ないとですね。

○永利委員

全国統計から言いますと、2011年をピークにして図書館で本を借りるという人は減っていますね。図書館の数は増えているんですけど、図書館で本を借りるという人は減っている。1館当たりの貸出冊数も当然減っているという統計が出ている。全国平均ですけども。ですから、どこの図書館も図書館として、住民の人に本を読んでもらいたい、読書センターとしての役割を果たしたいといろんな取り組みをやっているんですけど、なかなか伸びないというのが現状ですね。

○時里会長

何か月前でしたか、本を1冊も読まない割合が6割を超えたとかいう。割と衝撃なデータが出ていましたね。

○永利委員

出ていましたね、国語審議会ですね。

○時里会長

おそらく、スマホの短い文章というか、それなりの文字は読んでいるんだろうけど、1冊というような感じで読む機会が減っているんだろうという感じがします。短文というかスマホに載るような文章はよく読む。

○永利委員

文科省の子ども読書活動推進計画の中にも、紙の本の読書は読書なんですけど、スマホとか電子媒体での読書も読書に考えるというような提言がなされていますので、そういった意味では紙媒体ばかりを統計として捉えるというのはちょっと今後考えないといけないと思います。

○時里会長

そうですね。なかなか難しいところに差し掛かっています。みなさんいかがでしょうか。他になければ次に行きたいと思います。

## (2) 第2次太宰府市子ども読書活動推進計画の総括について

○時里会長

それでは、第2次太宰府市子ども読書活動推進計画の総括について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、第2次太宰府市子ども読書活動推進計画の進捗状況について、ご説明いたします。令和5年度は第2次子ども読書活動推進計画の最終年度でございましたので、あわせて総括をご報告させていただきます。

お手元の資料1「第2次太宰府市子ども読書活動推進計画 令和5年度の報告と第2次計画の総括」をご覧ください。

計画に記載しております乳幼児期、学齢期、青年期、協働のそれぞれの領域ごとに、取組状況をご説明いたします。

まず、乳幼児期、1ページから6ページをご覧ください。

ここでは、本との出会いの支援、読み聞かせの推進、本とふれあい、楽しむ環境づくりを進めてまいりました。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、令和4年度には実施できていなかった事業を再開したことによりまして、ブックスタート事業や読み聞かせ、おはなし会を実施することができました。イベント回数、参加者も増加しており、達成度も改善したものが多くみられます。今後も、本との出会いの支援、読み聞かせの推進を中心に取り組みを進めてまいります。

次に、学齢期、7ページから10ページでございます。

ここでは、学校図書館における読書活動の推進、学校図書館の充実、家庭での読書活動の支援などを進めてまいりました。家庭での読書活動の推進として、8ページの23番「移動図書館車の学校乗入れ、身近な場所の巡回」の項目ですが、先ほどから話題に出しておりますように、令和5年度は前年度と比較して貸出数や延べ利用人数が減少しております。図書館長が申しあげたようなことが要因の一つとして考えらると私どもも分析しています。また、学校と市民図書館の連携として、授業支援図書の出借、それから読書への関心が高まるよう、小学生は施設見学、中学生は職場体験で司書の仕事内容などを学んでいただいたほか、特別支援学校への出張おはなし会も実施することができました。令和5年度に図書館システムを学校と市民図書館で一本化いたしましたので、今後、授業支援図書の貸し出しなど、学校支援事業のさらなる充実に努めてまいりたいと考えております。

次に青年期、11ページ、12ページでございます。

ここでは、青少年向けの資料配置や展示方法の工夫など、この世代の読書への関心を高める取組や、青少年が読書や図書館と主体的に関わることができる仕掛けづくりを通じた市民図書館、学校・大学図書館との連携を進めてまいりました。その中で、おすすめの本や新着図書情報の発信、参加型の取組としての実習の受け入れ、それから図書館間の交流として、県立図書館との相互貸借を行いました。職場体験では、市外からも含めて4校13人を受け入れ、図書館への理解を深める取り組みを進めることができました。今後も、新着図書情報の発信や時事ネタに応じたおすすめ本の紹介など、若い世代が読書への関心を高めることができるよう情報発信に努めてまいります。

最後に、協働、13ページから16ページをご覧ください。

読書活動推進のための啓発の取組としまして、30の子ども及び一般向けの読書推進事業を行い、延べ4,600人を超える方々に参加いただきました。広い世代に読書に親しんでいただく場を提供できたものと感じております。

読書活動ボランティアの育成につきましては、未経験者のための読書ボランティア講座や地域文庫育成講座、おはなし会や交流会をとおして、登録者の意欲の向上を図ることができ、令和5年度はおはなし会を行うグループを新たに立ち上げることができました。

令和5年度は、コロナ感染症の5類への移行によってさまざまな取組を再開することができた一方で、市民図書館、移動図書館の利用者が減少しております。これを改善すべく、先程も説明しましたような、市自治協議会を通じて各自治会へ図書館の利用を呼びかけたり、あるいは市内高齢者施設へ出向いて団体貸出の利用を呼びかけるなど、取組を進めております。また、図書館システムを活用した学校支援の体制づくりにも取り組んでいるところでございます。

今後とも、「読書活動をとおして、子どもの豊かな心を育み、みずから生きる力を培う」ための施策を進めてまいりたいと考えております。説明は以上でございます。

○時里会長

ご説明ありがとうございます。それでは委員の皆様、質疑・意見等ございましたらお願いします。

まず、私からよろしいですか。達成度を見せていただくと、C評価は一つだけで、すべてBとかAとかの評価になっています。ただまあ、経年変化、前年度がどうだったかということがよく分からないものですからよく理解ができないんですけども、どういう評価をなさっているかお聞かせ願えますか。

○事務局

ご指摘のとおり、どういったところを尺度に考えているのか、というところが重要なポイントになってこようかと考えております。単純に数の増加という部分では割と比較がしやすいかと思われましますが、どうしてもそういった定量的な評価ができない部分ですね。ただ、それぞれの担当課の方で目標としていた水準を100%達成できたという部分につきましてはA評価、目標をやや下回る充実の余地があるというところにつきましてはB評価という判定を出してきております。通常どおりの取組みができたというところにつきましては、概ねAを付けているものと思っておりますので、またあともう少しというところの部分はずいぶん、Bの評価がついているものだろうと、文化学習課としては判断しております。

○時里会長

ありがとうございます。皆様から何かございますか。

○永利委員

今、会長が言われましたように、ひとつ気になったのが23番目の項目ですけども、文化学習課・図書の方はC評価で、学校教育課がAの評価になっているんですね。ここは2ランクの差があるので、捉え方としては、図書館とすれば猛暑で利用が減ったとか数的なものだと思いますけど、学校教育課の方はどういう指標で、例えば学校にヒアリングをしたとかそういったことで考えられているのか。同じ項目でC評価とA評価と2つあるのが私としては気になっているところですがどうでしょうか。

○事務局

各学校での取組みとしましては、2週間に1回昼休みに巡回ということで、移動図書館の乗り入れを受け入れてくださったというところ、同じように校内放送にて周知を図っていただいたというところで、学校教育課というか、学校側としてはそういった取組を進めていただいたけれども、結果としては冊数のほうは減少する形になってしまったというところで、私共としても指標に差があるというのはご指摘のとおりだと思います。

います。学校側の取り組みとしてはですね、きちんと対応いただいたというところで考えているところです。

○時里会長

いかがですかね。私も気になっていたところではあります。課によって違うのも無くはないのかなと思いますけども。文化学習課・図書館としては実数は押さえることができるわけですね、要は数としてどれくらい借りてもらったかとか、どれだけ人が関わったとかあるでしょうけども。学校教育課としては仕組みというか、回数としては達している。きちんと2週間に1回回っていると。そういう評価でしょうからね。なんとなく文化学習課と学校教育課と合わせて評価してもいいようなね、わざわざ分けなくてもという感じはしますね。定期的きちんと回っているけど、子どもの利用は減っている。それを文化学習課はAとし、学校教育課はCとしているのは、違和感がありました。他にもそういう分かれているものがありますが、割と足並みが揃っています。A、Bとかは無くはないんですけど。

○江口委員

CとAのところを見ますと、取り組みの内容が「読書環境補完を図る」ということが書いてある。「補完」の捉え方をどうするかですけど、「補完」の捉え方としては、すすく号が乗り入れて、利用しようとしたのかですね。冊数まで求めているかの違いがやっぱりここは出てくると思うんですね。補完をそういうふうに、二つの面から見るとというのが最初から分かっているのであれば、これでも十分説明がつくんじゃないかと思いますよ。読み手が補完された状況をどう考えるかということに委ねられているので。まだ、逆に並んでいるほうがまだ分かりやすいというか、これだけ来たんだけれども冊数としては少ないよと言われたほうが、なんとなく順番としてはですね。

○時里会長

ちょっと言うと、達成度の指標ですよ。だから文化学習課・図書館がどういう指標をあげていたのかとかね。学校教育課がどういう指標をあげていたのかがあって、達成度があったとすれば分からなくはないですけど。これは文章だけですので。まあそこまで厳しく言わなくてもいいのかなと思いつつ。

○事務局

何か目標的な数値とかが、こういうことをすれば達成だよというのがあるとですね。分かりやすいんですけど。

○江口委員

学校教育課の方はもう2回回るのは決まっているんだから、なくてもいいような気がします。上の方だけの評価で十分。2回来られるのは決まっているし、学校の放送もずっと継続的に、前からと言うんですかね、引き継がれてやっているの。放送するって委員会のほうがわかっているの。あまり努力している感も、子ども達も学校としてもありませんから。評価としてわざわざあげるかどうかを検討したほうがいい。

○時里会長

そうですね、2週間に1回、毎回昼休みにやって来る、校内放送で周知を図っている。ルーティーンでやっているんでしょう。きちんと回っているということではあるんでしょう。まあ、そのぐらいでしょうかね。

○中村委員

今の件で総括されて、例えばBとかCとか出ているところが、それに対してどういう対策を取るということを話し合いをされる、話す予定である、また話し合いをした、話し合いをしたならどういった内容だった、というのはどこかの段階で知ることはできませんでしょうか。

○事務局

現状、図書館協議会の方でご報告するということは予定していませんでしたが、何らかの形で達成度を改善していくという動きは必要かと思っておりますので、そういった動きを始めていきたいと思っております。

○事務局

先ほど館長の方からもありましたけれど、校長会や自治協議会に出向いて説明はしたということもございますけど、それだけにとどまらず考えていきたいと思っております。

○中村委員

忙しいとは思いますが、次のステップにとにかく上がるために、次に第3次計画とかもされると思うんですけど、そこにうまく反映できるように。開催されたらぜひ説明でなくても、話し合いをされたら議事録のような形で見たいなと思っております。

○時里会長

すみません、これ、第2次はいつまでになっていますか？

○事務局

令和5年度が最終年度です。

○時里会長

令和6年度はもう第3次に入っているんですね。

○事務局

はい。

○時里会長

分かりました。5、6年くらいの計画になるわけですね。

○事務局

第2次は5年間の計画で、令和4年度が最終の予定でしたが、国・県の計画の策定を待つというところで、最終年度の1年間を延長しておりますので、今回第2次につきましては6年間になったということです。

○時里会長

委員の皆様、ほかによろしいでしょうか？

では、次の協議事項の(3) 令和6年度事業進捗状況について事務局から説明をお願いします。

(3) 令和6年度事業進捗状況について

○事務局

お手元の資料「令和6年度事業進捗状況」をご覧ください。10月末の状況で資料を作成しています。私からは、昨年からの状況が変わった事業について説明させていただきます。

1 ページ目「2. 読書推進事業」をご覧ください。5 段目「読書推進後援・協力事業」についてです。この事業は市内の読書ボランティア団体等が主催者となり、市民図書館が共催・後援・協力などの支援を行う事業ですが、年々依頼が増えており、昨年は6 事業を支援しましたが、今年は10 月末ですでに6 事業の支援を行いました。特に、項目の3 段目「大人のための絵本の読み聞かせ」については、特別整理期間中にリニューアルした「しらべものコーナー」で実施していただき、20 名の方に参加してもらうことができました。

次に2 ページ目をご覧ください。「3. 子ども読書活動推進事業」の7 段目「出張おはなし会」は、コロナ禍以来となる学童保育所3 ヶ所から依頼があり、たくさんの子どもたちに大型絵本やパネルシアター、新聞紙シアターなどさまざまなお話を楽しんでもらうことができました。8 段目「ワークショップ「どっちから読んでも～回文を楽しもう」では、福岡市在住の絵本作家「本村亜美さん」をお招きし、小学生対象に回文を学ぶ講座を行いました。柔軟な子どもたちの発想でたくさんのお話を作ってもらうことができました。次に14 段目「えほんのもりのおはなし会」は、昨年10 月に発足した図書館ボランティアによる読み聞かせグループ「えほんのもり」によるおはなし会です。発足以来継続して毎月第3 土曜日に活動を続けており、夏休みに2 回、工作も取り入れたおはなし会を実施され、参加者に好評でした。

3 ページ目については今回追加の説明はありません。私からは以上です。

○時里会長

ご説明ありがとうございました。委員の皆様からご質問やご意見がありましたらお願いします。

○永利委員

ここには書いてありませんが、先ほどから話があった、学校図書館と公立図書館とコンピューターを連動、一緒にすると言われていましたが、進捗状況はいかがですか？

○事務局

令和5 年度から稼働を開始しまして、同じシステムを使って運用できるようになったことを契機に、今まで授業支援図書の提供に関してはFAX 送信でやり取りをしてきたわけですが、それをうまくシステム上で活用できないかと。それで今、各小学校、中学校の代表の司書の先生方においでいただきまして、現場の意見を聞きながらですね、こういった形が一番やりやすいのか、また図書・司書の先生だけではなく、どうやったら担任の先生方に知ってもらえるのか、活用していただけるのかを、本年度中のスタートに向けてやりやすい方法の検討を進めているところです。そこを皮切りにして、さらに一本化したことによってできるサービスがないかというところを検討していきたいと思います。

○永利委員

データはもう一緒になっているということですか。

○江口委員

今ですね、中学校はたぶん終わったと聞いているんですが、小学校の場合は順番に今ラベルを張り替えていて、7 校中…すみません正確ではないですが2 校ぐらいしか終わってないかもしれないですね。例えばうちの学校あたりは1 月くらいにという話でした

ので。2時過ぎ、3時ちょっと前くらいまで司書さんいらっしゃるんですけど、ほとんど子どもが来ているんですよね。図書館は1時間目どこどこ、2時間目どこどこ。ぜんぜん作業をできないというか。それで市教委のほうも手伝いに行きながら、作業日を決めて1個ずつラベルの張替えを、膨大な数があるので計画的に進められている。

○時里会長

それは大変ですね。コンピューターの一元管理になっちゃうから、ラベルそのものからきちっとやり直すと。

○江口委員

図書館の本と学校の本が連動して同じラベルになっていくと聞いています。それ全部張り替えないといけない。

○時里会長

それは大変だな。まあ、いずれということですね。

○江口委員

はい、計画的にはされています。

○時里会長

江口委員は今小学校の現場にいらっしゃるんですよ。

○江口委員

はい、そうです。

○時里会長

他に小学校中学校の委員はいらっしゃらないですか。

○江口委員

原委員が・・・。

○時里会長

中学校の現場はいかがですか。

○原委員

今うちもラベルの張替えとかをやっていて、エラーが起こったりとか不具合が結構あったりしてその辺がスムーズに進まないと聞いたりもします。4校、4中学校の司書さん達がどこかに集まって一斉に、お手伝いしながら進めたりとかもありますね。まあその辺スタートするのに、こう…若干ギクシャクしながらね。

○時里会長

だいたいいつ終わらせようというような計画はございますか。

○事務局

今現在、市民図書館のシステムから各小中学校の資料の検索とか、どんな本を持っているかを検索できる状況ではあります。学校からシステムを通じて依頼するというのはまだ、お試しでちょっとやってみるという段階で、今週中にSEに来てもらって、設定してもらおう予定にはなっています。そこからちょっとずつ始めていって、本番に向けて準備をしているという段階ではあります。

○時里会長

いつまでというものはまだないということですね、わかりました。小学生中学生含めて、よかったら・・・ですね、有効であればできたら早く終了してもらいたい。アル

バイトを使ったりとかは難しいんですかね。

○江口委員

そうですね、順番決めて、年度内にはすべての学校と考えてらっしゃると思いますけども、よその司書さんもさっきの中学校みたいな体制で手伝いに来る、そして教育委員会からも来るという形で数日間閉館にしてということで行っております。

○事務局

わかりました。他に委員の方からご質問・ご意見ありませんか。

それでは、本日予定されていた案件の協議は終了いたしました。

**その他**

(1) 図書館利用者アンケートについて

令和5年度に指定管理者が実施した図書館利用者アンケートの結果を事務局より報告。